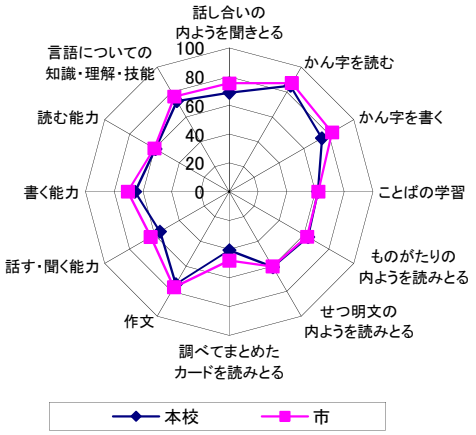
宇都宮市立昭和小学校 第３学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	68.7	75.4
	かん字を読む	85.2	87.2
	かん字を書く	74.5	82.5
	ことばの学習	61.7	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	63.3	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	60.5	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	40.8	48.0
	作文	74.2	76.8
観点別	話す・聞く能力	55.6	63.0
	書く能力	65.5	70.6
	読む能力	59.3	60.2
	言語についての知識・理解・技能	72.8	76.3



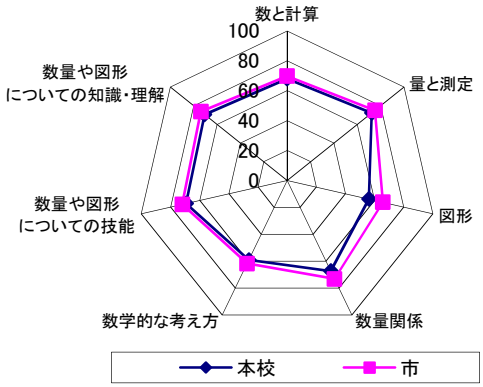
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・平均正答率は約69%で，市の平均を約6ポイント下回っており，身についているとは言えない。 ・話の中心に気をつけて聞くことはとてもよくできていた。話し手の話し方の工夫の共通点に気をつけて聞いたり，話し手の考えの共通点を聞き取ったりする問題の正答率が低かった。	・今後も，相手の言いたいこと（話の中心）は何かを意識して聞くようにさせるとともに，話の内容をしっかりとらえ集中して考えながら聞く習慣をつける。 ・相手の言いたい事は何かを意識して聞くとともに，話し方の工夫の共通点にも関心を持ち意識して聞くようにし，考えながら聞くことができるようにする。
かん字	・漢字を読むこと，漢字を書くこと，どちらも市の平均を下回っており，身についているとは言えない。漢字を書くことについては，8ポイントも下回っている。 ・読むことでは，「行う」（おこなう），書くことでは，「麦茶」「公園」の正答率が低かった。いずれも2年生で学習した漢字の正答率が低かった。	・3学年までに学習した漢字について復習を行い，定着を図る。 ・国語や他教科の学習において，既習の漢字をできるだけ使って文章を書くよう声をかけ，学習した漢字を使って文章を書こうとする意識と習慣をつける。また，同音・同訓の漢字，同じ部首の漢字や意味の似ている漢字などを組み合わせて覚えるようにさせ，より幅広い漢字の知識が身に付くようにする。
ことばの学習	・平均正答率は約62%で，市の平均とほぼ同じである。 ・国語辞典に出てくる言葉の順番を答える問題の正答率が低かった。 ・ローマ字を読む問題の正答率がやや低かった。 ・漢字の部首を答える問題は，とてもよくできていた。	・漢字の学習をする際，同じ部首の漢字を集めてまとめるなどして，部首を意識して感じをおぼえるようにさせる。 ・日常の国語の授業や家庭学習の中で，国語辞典を引く機会を増やし，国語辞典の引き方に慣れ，積極的に辞典を使う意識と習慣をつける。 ・ローマ字の読み方や書き方については定着度に個人差が大きいので，定期的に復習し，身の回りの簡単な言葉をローマ字で書けるようにする。
ものがたりの内ようを読みとる	・平均正答率は約63%で，市の平均とほぼ同じである。 ・場面の移り変わりや登場人物の気持ちを読み取る問題はよくできていたが，文章のあらすじを要約する問題の正答率が低かった。	・文脈に即して場面ごとの内容を読み取ったり，登場人物の様子や心情を考えたりする学習を意図的に行い，読解力を伸ばしていく。 ・今後も朝の読書を奨励し，音読や読書活動を積極的に取り入れて，本に親しむ機会を増やし，さらに読解力が高まるようにする。
せつ明文の内ようを読みとる	・平均正答率は60．5%で，市の平均とほぼ同じである。 ・文と文のつながりを考えながら読み取る問題の正答率は，市の平均を上回っていたが，文章の要点に注意して読み取る問題の正答率が，やや低かった。	・説明文を読む機会を増やすとともに，接続語に注意して段落と段落の関係をとらえたり，段落の要旨をとらえたりする学習を意図的に行い，文脈に即して書かれている内容を読み取る力を伸ばしていく。
調べてまとめたカードを読みとる	・平均正答率は，約41パーセントで市の平均を約7ポイント下回っており，身についているとは言えない。初めての設問の形であるため，市の平均正答率も低くなっており，難易度の高い問題であったと思われる。 ・資料を正しく読み取る問題よりも，資料を読み取ったうえで，適切な言葉づかいで話す問題の正答率が低かった。	・グループ活動や発表の機会を増やし，与えられた情報をもとに，資料を正しく読み取り，情報を整理して適切に話す学習を意図的に行っていく。
作文	・平均正答率は約74%で，市の平均をやや下回っている。 ・書こうとする中心を明確にして書くことはよくできていたが，2段落構成で書くことがよくできていなかった。	・作文の書き方の形式について理解させ，目的に応じて様々な文章を書くことができるようにする。 ・今後も日常の学習活動の中で自分の考えや感想などを文章で表現する機会を増やし，継続的に文章を書く習慣を身に付けさせ，書く力を高めていく。

宇都宮市立昭和小学校 第３学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	68.0	69.8
	量と測定	72.4	75.2
	図形	56.1	65.7
	数量関係	67.3	73.1
観点別	数学的な考え方	59.1	61.7
	数量や図形についての技能	69.3	72.0
	数量や図形についての知識・理解	70.6	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は68パーセントで，市の平均をやや下回っている。 ・繰り上がりのあるたし算と，2けた×1けたのかけ算の問題がよくできている。 ・繰り下がりのあるひき算と，わり算の問題の正答率が低かった。特に，繰り下がりのあるひき算の正答率が，市の平均を10ポイント以上下回っている。	・個人差が大きい領域なので，既習内容がしっかり身に付くよう定期的に復習の時間をとり，定着を図る。 ・「繰り下がりのあるひき算」の問題については，特に重点的に復習し，苦手な児童には個別に支援して，しっかり身に付くようにする。
量と測定	・平均正答率は72パーセントで，市の平均を下回っており，身についているとは言えない。 ・「長さ」や「重さ」を読み取る問題は，比較的よくできていたが，「時刻と時間」に関する問題の正答率が低かった。	・身近にあるものの長さや重さを，推測したりはかったりして，適切な単位を使って表す機会を意図的に設けるようにする。 ・「時刻と時間」については重点的に復習し，2つの時刻の間の時間やある時刻から一定時間前の時刻などが正確に求められるようにする。
図形	・平均正答率は約56パーセントで，市の平均を10ポイント近く下回っている。 ・2年生で学習した「はこの形」で，直方体の長さの等しい辺の数や，直方体から写し取ることができる面を答える問題の正答率が低かった。	・具体物を使って辺や面について復習し，定着を図る。
数量関係	・平均正答率は約67パーセントで，市の平均を約6ポイント下回っており，身についているとは言えない。 ・□を使った文章問題を表した図を理解する問題や，棒グラフを正しく読み取る問題の正答率が低かった。	・縦軸の目盛りの正しい読み方を指導し，棒グラフを正しく読めるようにする。また，題や目盛りを正しく書き，縦軸と横軸に合わせて正確に，定規を正しく使ってまっすぐに棒をかいていくという手順をしっかり身に付け，棒グラフが正確にかけるようにする。